財団法人　富山県新世紀産業機構

環日本海経済交流センター

アジアをはじめ世界に羽ばたく県内企業をサポートします

NORTHWEST PACIFIC REGION ECONOMIC CENTER

2011年3月発行

ごあいさつ

財団法人　富山県新世紀産業機構
環日本海経済交流センター長
藤野文晤

伊藤忠商事(株)中国総代表、常務取締役、中国研究所長等を経て、現在、(財)富山県新世紀産業機構　環日本海経済交流センター長のほか、藤野中国研究所代表。
ほかにも日本国際貿易促進協会顧問、日中友好協会参与、日中経済協会評議員、大連経済技術開発区特別経済顧問等を務める。

富山県は電子部品、機械、金属、化学工業を中心に日本海側屈指の工業集積を形成しており、特にアルミ工業、プラスチック工業、機械工業製品製造、医薬品製造では高い国内シェアを有しています。

一方、経済のグローバル化の進展と北東アジア地域の成長を背景として、県内企業は積極的に北東アジアに進出しており、特に地理的に近い中国へは平成12年（2000年）以降、進出する県内企業が増え、平成22年12月現在で101社（270事業所）が現地で事業を行っています。

貿易は平成22年の富山県の輸出入貿易総額は輸出入ともに伸率は2年ぶりにプラスに転向し前年比約28%増の3,061億円となり、石川県（2,072億円）、福井県（1,414億円）に比べ北陸三県の中で富山県が依然、最も中国及び海外との経済交流が盛んな県といえます。

インフラ面においても、伏木富山港が国際貿易港として国の特定重要港湾に指定されており、深さ10m以上の大型岸壁を19バース整備しています。また、韓国航路や中国航路など5航路が開設され、釜山でのトランシップにより全世界への輸送ルートが、またシベリア鉄道への接続によりモスクワ、そしてヨーロッパへの輸送ルートが確保されています。平成20年7月には東海北陸自動車道が全線開通し、中京圏と富山との物流が促進されているほか、富山空港では4路線の国際定期便が運航（大連、上海、ソウル、ウラジオストク）し新たに大連便が北京まで延伸され、デイリー運航に増便されるなど、富山県は日本海側の玄関口としての役割を果たしています。

その中で富山県は、環日本海諸国をはじめとする北東アジア地域との経済交流を促進するため、平成5年10月に環日本海貿易交流センター事業を開始しました。そしてその機能を一層強化するため、平成16年10月、(財)富山県新世紀産業機構の一部門となり、環日本海経済交流センターとして再スタートしました。

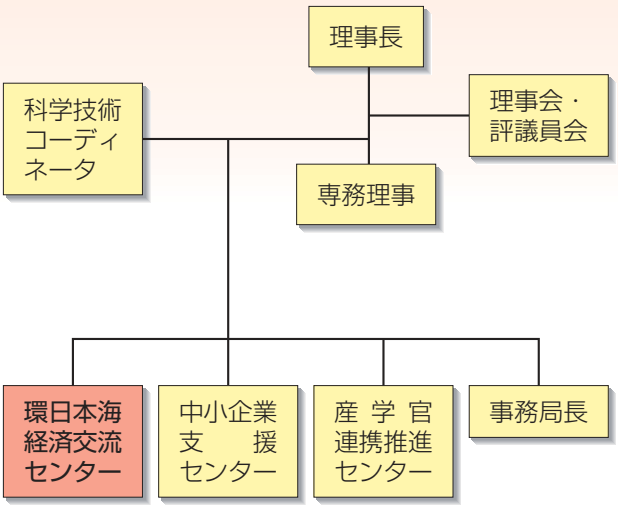
当センターでは、新たなビジネスチャンスを求めて北東アジア地域ビジネスに取り組む富山県内企業をサポートするため、様々なサービスをご用意しております。その他ご要望等ございましたら当センターまでお問い合せ下さい。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

CONTENTS

国際ビジネスにおける交流機会の拡大
（1）富山県ものづくり総合見本市の開催 ―― 4
（2）海外販路開拓への支援 ―― 6
（3）海外販路開拓サポートデスクの設置 ―― 6
（4）経済交流ミッションの派遣 ―― 7
（5）北東アジア地域からのミッションの受入れ ―― 7
経済情報提供相談の実施
（1）貿易・投資セミナーの開催 ―― 8
（2）中国研究会の開催 ―― 8
（3）貿易・投資コンサルティングサービスの提供 ―― 9
（4）専門調査の実施 ―― 9
（5）「環日本海経済ジャーナル」の発行 ―― 10
（6）図書・資料の収集・公開 ―― 10
（7）メールマガジン「ＢｉＷＥＥＫＬＹ」の配信 ―― 12
（8）ウェブサイトの公開・更新 ―― 12

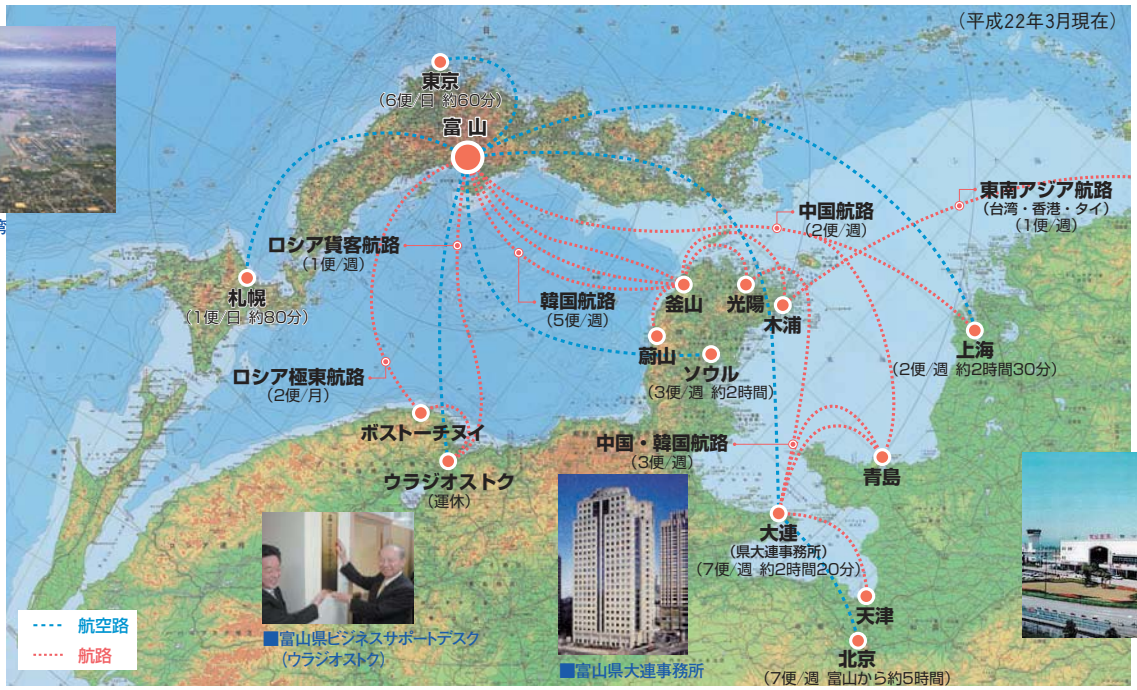
組織図



環日本海交流の拠点「とやま」

日本列島のほぼ中央に位置する富山県。東京・大阪・名古屋へはそれぞれ鉄道で約3時間。北陸新幹線の開通（平成26年度末開通）をはじめ、対岸諸国と結ぶ航路や航空路の整備が進み、環日本海交流の拠点としても注目を集めています。

■特定重要港湾
伏木富山港



■富山県ビジネスサポートデスク
（ウラジオストク）

■富山県大連事務所

■富山空港

「環日本海諸国図」／通称「逆さ地図」。富山県が国土交通省の承認（平成6総使第76号）を得て作成した地図。逆さ地図には便宜上、航空路、航路を重ねました。

日本海側屈指の工業集積「とやま」

豊富な水、低廉な電力を活用し、アルミなどの金属や機械産業が発展した富山県。近年、これらの技術を背景に電子材料分野で新たな事業展開が進んでいます。また、県外からの新規立地も進み、電子部品・デバイス・電子材料産業も盛んで、今日では日本海側で実質１位の工業集積を形成しています。

■日本海側では実質１位の工業集積

１人あたりの製造品出荷額等（平成20年）

富山県　358万円
全　国　263万円

１人あたりの付加価値額（平成20年）

富山県　120万円
全　国　　79万円

高度技術を有する産業群

- 産業ロボット
- 自動車用軸受け・ベアリング
- 自動車用エンジンバルブ開閉用部品
- ウォータージェット
- マグネシウムダイキャスト製品
- 金属切断機械、金型製造
- コンピュータ等のスイッチング電源
- 超大型樹脂成形システム
- 電気めっき、特殊表面処理
- 高機能コンデンサ
- 癒し系ロボット
- 液晶ディスプレイ部品
- リチウムイオン電池材料

癒し系ロボット「パロ」
提供:（独）産業技術総合研究所

多くのオンリーワン企業

- パソコン用ショックセンサ（世界シェア95%）
- パソコンCPU用PGAピン（世界シェア90%）
- カメラレンズ着脱部マウント（世界シェア90%）
- セラミックフィルタ・発振子（世界シェア70%）
- DVD・MDの光ピックアップ用精密部品（世界シェア50%、全国シェア70%）
- ファスナー（全国シェア90%）
- プラスチック光ファイバー（全国シェア90%）
- 一般家庭用接着剤（全国シェア80%）
- 自動包装機（全国シェア70%）
- 耐圧樹脂ホース（全国シェア70%）
- 環境対応型溶解亜鉛めっき（世界シェア100%）

フラットパネルディスプレイ用（FPD用）大型クリーンロボット

国際ビジネスにおける交流機会の拡大

1 富山県ものづくり総合見本市 –とやまテクノフェア2010・NEAR2010– の開催

隔年ごとに富山県、日本貿易振興機構（ジェトロ）と共にＮＥＡＲ（北東アジア経済交流ＥＸＰＯ）を開催し、県内外企業に北東アジア地域の企業との経済交流の機会をご提供していました。

今回の「NEAR2010」は、県内外のものづくり企業と北東アジア企業との双方向によるビジネスモデルの創出を図るため、新たに「富山県ものづくり総合見本市」として、これまで隔年で交互開催していた「とやまテクノフェア（主催：（社）富山県機電工業会）」と同時開催しました。

■開催概要

主事業	ＮＥＡＲ２０１０【北東アジア経済交流EXPO2010】 とやまテクノフェア２０１０ 併催事業　賑わいゾーン【テクノフェア会場とNEAR会場を結ぶゾーン】 第11回北陸（日本）・韓国経済交流会議【NEAR会場】 見本市テーマＰＲゾーン【テクノフェア会場】
総合テーマ	～北東アジアからの発信～ 環境の時代を見すえた　変革・創造・再発見
会期	2010年８月５日(木)～７日(土)
会場	【Ｎ Ｅ Ａ Ｒ】富山市体育文化センター 【テクノフェア】富山産業展示館（テクノホール）
来場者数	２４,１９８人　(8/5 7,987人　8/6 8,663人　8/7 7,548人)
出展者数	３４８社・団体（３９６ブース） 【Ｎ Ｅ Ａ Ｒ】171社・団体（164ブース） 【テクノフェア】177社・団体（232ブース）
出展品目	【Ｎ Ｅ Ａ Ｒ】産業部品・材料 工作・産業機械部品、自動車部品、電機電子機器部品、精密機器部品、鋳造・金型・金属加工品、プラスチック成形品、住宅関連木製品など 【テクノフェア】 機械金属、電機・電子、計測機器の製造品及び加工品
商談成果	【Ｎ Ｅ Ａ Ｒ】商談成約・成約見込金額　28億6,200万円 内訳（単位：百万円）

	成約済み	成約見込み	合計
件数	49	287	336
金額	711	2,151	2,862

【テクノフェア】商談成約・成約見込金額　25億4,200万円
内訳（単位：百万円）

	成約済み	成約見込み	合計
件数	3	132	135
金額	3	2,539	2,542

来場企業からの声

部品調達先を探す目的で毎回来ています。
中国出張では30社回るために2週間かかり30～40万円コストがかかります。しかし、NEARでは全く費用も要らずに多くの企業と商談できるので助かります。現在、１社と継続交渉しており順調に進んでいます。　（電子機器企業）

中国での営業を強化したいと考えており、中国情報を広く吸収するために来場しました。
結果、多くの中国企業と面談することができました。次回のNEARには出展数も多くより盛大であってほしいと思います。　（工業用製品メーカー）

部品調達と中国の技術力の状況を見極めるという２つの目的でNEARを利用しています。
NEARで出会った企業について弊社現地法人に「この中国企業はどうか？」と情報伝達し、現地で引き合いに出してみることがあります。　（工作機械メーカー）

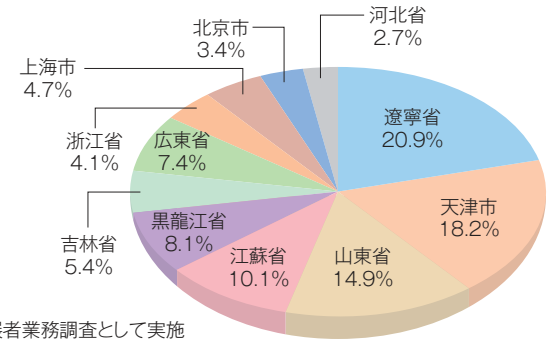
■NEAR2010開催概要

1 対 象 国　中国、韓国、モンゴル、ロシア沿海地方ほか

2 出展企業・団体

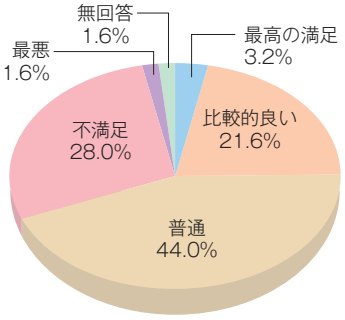
出展国・地域	企業数	団体数	合計
中　　国	142	6	148
韓　　国	10	0	10
モ ン ゴ ル	3	2	5
ロ　シ　ア	2	0	2
そ　の　他	6	0	6
合　　計	163	8	171

中国企業所在地分布

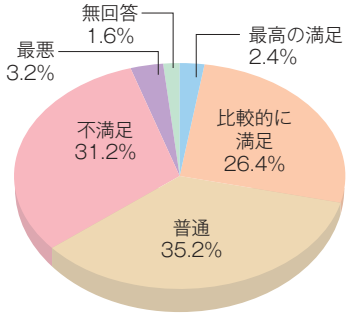


3 NEAR出展者アンケート　※「富山県ものづくり総合見本市」出展者業務調査として実施

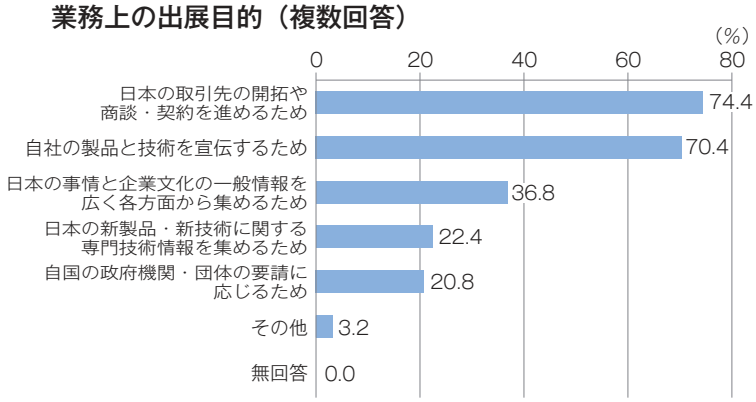
日本企業との交流面での満足度



業務達成度の評価



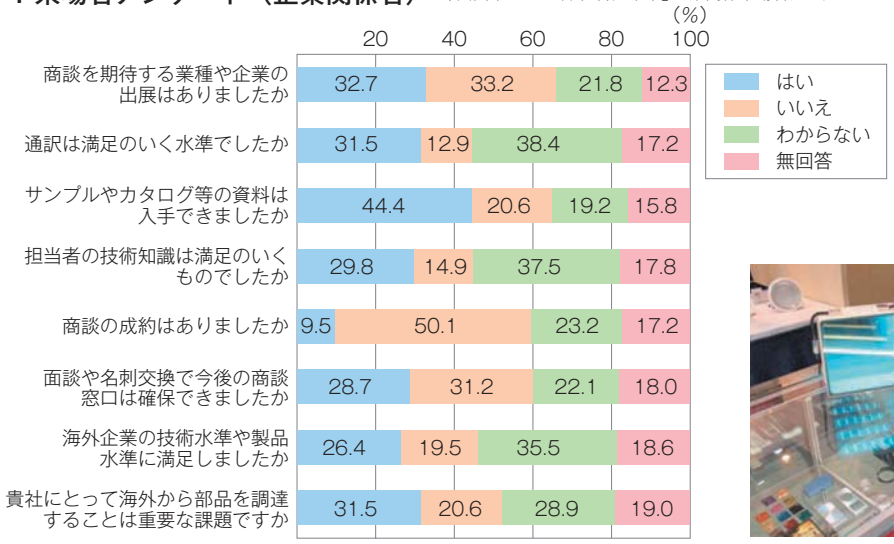
業務上の出展目的（複数回答）



日本企業関係者との交流結果

日本企業との交流内容の区分	合計
名刺を交換した企業数	1,031
製品・技術を説明した企業数	641
日本側から説明を受けた企業数	340
日本側へ見積書を渡した案件数	91
日本側から見積書を受けた案件数	58
日本側へ試作品を依頼した案件	37
日本側から試作品の依頼を受けた案件	51
双方が今後の連絡が確約できた企業数	224
既取引先からの訪問	97

4 来場者アンケート（企業関係者）※「富山県ものづくり総合見本市」企業関係来場者アンケートとして実施

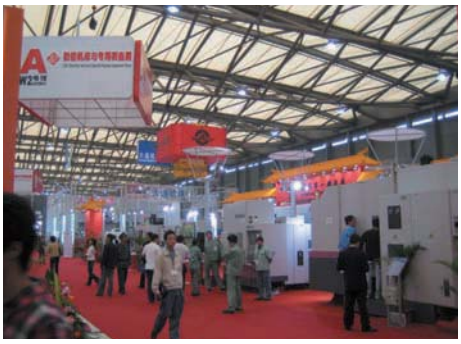


2 海外販路開拓への支援

県内中小企業が海外で開催される見本市に出展する場合の出展ブース料等をはじめ、パンフレット作成や旅費、特許権等取得費用を助成します。

■支援制度の概要

対象企業	県内の中小企業
助成率 限度額 採択件数	助成率1／3（上限50万円） 20件
助成対象経費	（1）市場調査費（委託費や調査謝金等） （2）見本市、展示会、商談会等の出展経費 （小間料、小間装飾料、輸送費、渡航に要する航空運賃、通訳費） （3）人材育成費 （4）広報費 （5）海外マーケティング活動経費 （旅費、通訳費、海外用販促ツール〔製品説明書等〕製作費、産業財産権取得関係費〔特許権、実用新案権、意匠権及び商標権の出願手続代行経費〕）



■H22採択企業実績（16社）

㈱エムダイヤ（滑川市）	トナミ醤油㈱（砺波市）	㈱エムエムシー（富山市）
㈲仁光園（高岡市）	エムアイエスシステム販売㈱（富山市）	㈱トヨックス（黒部市）
㈱竹中銅器（高岡市）	㈱四十物昆布（黒部市）	㈱松村精型（高岡市）
新光硝子工業㈱（砺波市）	㈱村中手芸（射水市）	ホクセイプロダクツ㈱（高岡市）
㈱葵食品（高岡市）	㈱上久（富山市）	㈱高畠（高岡市）
㈱ビーライン（富山市）		

■支援事業活用例

㈱ビーライン　（中国での飲食業展開）

22年10月に北京で弊社の海外1号店となる火鍋料理店「富山海」をオープンさせました。開店後、ちょうど海外販売助成事業の募集を知り応募、採択をいただきました。

今後、助成事業を活用しながら北京での飲食店を運営しながら中国人に受け入れられるものをリサーチし、フランチャイズ展開とコンサルタントができるよう市場調査を行う計画です。

新たなことに挑戦する上でこの事業はたいへん助かります。

今後は飲食に関連した食品加工や貿易も視野に置きながら北京を中心に事業を広げ、日中間交流の懸け橋になりたいですね。

（代表取締役　大坪　悟氏）

㈲仁光園　（生食用卵の輸出販売）

香港での商談会、試食会の様子

海外販売助成事業を活用して、食料品店などで卵かけごはんの試食会を行いましたし、今は現地の言葉での卵かけごはんを紹介するパンフレットの作成も検討しています。可能性として一番高いのは、香港での新たなチャネルの開拓でしょうか。

日本国内の卵の市場は飽和状態で、これを足掛かりに、海外での販売量を徐々に増やしていきたいですね。　（営業　島　哲哉氏）

3 海外販路開拓サポートデスクの設置

H23年度から新たに海外経験の少ない県内中小企業の海外販路開拓を総合的に支援するため、センター内に海外販路開拓サポートデスクを設置するとともに、専門相談員である支援マネージャーを配置します。

4 経済交流ミッションの派遣

北東アジア地域の最新の投資環境や市場動向等に関する情報収集や、現地政府・企業の視察、交流等を通じて、ビジネスの拡大に直結する機会を提供するため、県内企業によるミッションを派遣します。

現地で事前マッチングによる商談会も開催し商談成果を高めています。

■これまでの実績

H16　遼寧省大連市、山東省青島市
H17　上海市、江蘇省蘇州市、浙江省杭州市
H18　上海市
H19　上海市、江蘇省無錫市、湖北省武漢市
H21　天津市、遼寧省大連市、山東省煙台市
H22　四川省成都市、重慶市、上海市

■参加者の声（H21中国環渤海地域貿易投資商談ミッション参加者から）

㈱光岡自動車　副社長　河村　賢整 氏

これまで北京、上海、大連などの都市を中心に視察し中国でのビジネス展開を検討していましたが、環日本海経済交流センターのミッション派遣地にこれまで行ってなかった天津市があったので応募しました。天津では3社と商談し、うち2社とはその後も連絡をとりあっています。話がまとまれば、1社とは当社の車のディーラーになるでしょう。今後も継続的にミッションを主催していただきたいですね。

環境整備開発事業協会　事務局長　熊本　幸之助 氏

大連、瀋陽でビジネスの機会を探り始めたばかりですが、天津でも可能性を見出そうと、ミッションに参加し天津での博覧会にも出展しました。
ミッションの内容はとても充実しており、普段の活動からはなかなか面談できない方々とお会いできたことは良かったと思います。今後は協会に商社的機能を持たせて、中国はもとより他のアジア地域でも展開したいですね。

参加者アンケートから

中国の現状を目の当たりに見ることができた。食品関連会社も多く訪問でき、たいへん有意義であった。（食品メーカー）

藤野団長のもと、日系・中国企業や、県事務所、人民政府の方々とも交流でき有意義であった。（薬品商社）

H19,21のミッションに参加したことがきっかけで、このたび北京に飲食店を開設しました。（飲食業）

5 北東アジア地域からのミッションの受入れ

北東アジア地域からのミッションを随時受け入れ、県庁、経済団体、企業等との交流を推進します。

■これまでの実績（抜粋）

受入団体名	受入時期
中国大連市甘井子区人民政府	H18年６月20日
中国国際貿易促進委員会大連市分会	H18年10月４日
中国大連ソフトウェアパーク	H19年３月２日
中国無錫市錫山経済開発区	H19年４月９日
中国瀋陽市人民政府・瀋陽市貿促会	H20年７月28日
中国大連市駐日本経済貿易事務所	H20年９月26日
中国山東省煙台市人民政府	H22年３月25日
ロシア極東若手ビジネスマンとの意見交換会	H22年６月９日

経済情報提供相談の実施

1 貿易・投資セミナーの開催

中国をはじめ、韓国、ロシア等の北東アジア地域に関する貿易・投資セミナーを開催し、県内企業に企業経営のヒントとなる最新のビジネス情報をご提供します。

■H22実績

テーマ	講　　師
「中国ビジネスの基礎知識」	梶田幸雄氏／環日本海経済交流センター 貿易投資アドバイザー 麗澤大学外国語学部教授 大間知和能氏／㈱北陸銀行国際業務部 中国･ASEAN室長
「日台アライアンスで中国ビジネスを成功させるためには」	吉村　章氏／(社)台北市コンピュータ協会 東京事務所駐日代表
「経済大国　中国に日本はどう向き合うか」	藤野文晤氏／環日本海経済交流センター長

2 中国研究会の開催

中国に関わりのある方や関心のある方が業種を超えて集まり、意見や情報を交換し、中国に対する理解を深めるため、毎月1回程度、「中国研究会」を開催しています。これまで60回開催いたしました。

■概要

日　　時	毎月１回程度、２時間程度
場　　所	(財)富山県新世紀産業機構　技術交流ビル内会議室（富山市高田527）
内　　容	藤野文晤・環日本海経済交流センター長が、中国の社会経済事情や政治動向など時宜に応じた話題を提供し、参加者が自由に意見を交わすもの。
定　　員	15名程度

藤野文晤・環日本海経済交流センター長への講演依頼を随時受け付けています！

県内企業・団体等からのご要望により、センター長を講演会・セミナーなどの講師として派遣しています。

■H22実績

県内企業・団体名	日　　時
富山大学経済学部	H22年５月26日
富山大学東アジア共生研究会	H22年10月７日
北陸銀行大聖寺支店	H23年１月27日

3 貿易・投資コンサルティングサービスの提供

北東アジア地域の貿易・投資に関する専門知識や実務経験豊富な専門アドバイザーが、県内企業からのご相談に応じアドバイスします。また、ご要望に応じ、アドバイザーが企業を訪問させていただき、アドバイスいたします。（事前予約制・１時間無料サービス）

また、富山県大連事務所と連携し、中国現地の弁護士・会計士による法務・労務、税務・会計などの無料相談サービスをご提供します。

■専門アドバイザーのご紹介

中国　藤野　文晤（月3回）

一貫して中国事業に取り組んできた経験豊富な商社ＯＢ

【現職】
藤野中国研究所代表
日中経済協会評議員
日本国際貿易促進協会顧問
大連経済技術開発区特別顧問
㈱日本政策投資銀行アドバイザー等

【略歴】
伊藤忠商事㈱中国総代表、同社常務取締役、同社顧問、伊藤忠中国研究所長　等

【専門分野】中国・中国全般

【備考】中国歴代の指導者と親交がある

環日本海地域　野村　允（月1回程度）

北陸有数の環日本海経済ウォッチャー

【現職】
北陸AJEC理事
大連大学客員教授

【略歴】
北陸銀行、北陸経済研究所事務局長
金沢星稜大学大学院非常勤講師

【専門分野】ロシア・中国・朝鮮半島

【備考】定期的に北陸と環日本海諸国との経済状況を調査、北陸での講演実績多数、物流分野では県のロシア・環日本海物流研究会委員に就任、全国の環日本海交流関連組織の委員などを務める

中国　梶田　幸雄（月1回程度）

国内有数の中国ビジネスに精通した専門家

【現職】
麗澤大学外国語学部教授
北京航空航天大学法学院兼任教授
漢鼎法律事務所特約顧問

【略歴】
日中経済協会北京事務所
㈱日本経営システム研究所
青森中央学院大学経営法学部

【専門分野】中国法、国際企業関係法

【備考】主要著書では「中国ビジネスのリーガルリスク」「中国進出企業のトラブル事例と解決法」など多数

ロシア　森岡　裕（年間4回）

ロシア極東地域の専門家

【現職】
富山大学経済学部教授、(財)とやま環境財団評議員、北陸AJEC理事

【略歴】
富山大学経済学部助手、同大学講師、同大学教授、同大学極東地域研究センター教授を経て現在に至る

【専門分野】ロシア（エネルギー・企業経営）

【備考】「ロシア極東の地域開発　環日本海　経済交流に関する調査・研究」など著書多数。物流分野では県のロシア・環日本海物流研究会委員への就任経験がある

■中国現地の弁護士・会計士のご紹介

氏　名	現　職	専門分野
劉　同強	遼寧傑士孚（ジャスフ）弁護士事務所　弁護士（日本語可）	法務・労務
橋口　弘	大連邁伊茲（マイツ）諮詢有限公司　総経理（会計士）	税務・会計

4 専門調査の実施

県内企業のニーズに基づき、北東アジア地域の産業・市場動向や制度等についての調査を行い、その情報をご提供しています。

■これまでの実績（抜粋）

富山県内企業における対上海ビジネス可能性調査
富山県と韓国とのビジネスアライアンス
富山県電子電機・機械工業対中ビジネス可能性調査
富山県貿易実態調査（隔年実施）
富山県貿易関係企業名簿（隔年実施）

■今後の予定

中国バイヤー名簿（上海・大連）

5 「環日本海経済ジャーナル」の発行

北東アジア地域についてのビジネス情報誌を発行し、当センターの専門アドバイザーや有識者が最新のビジネス情報をご提供しています（各1,400部発行）。バックナンバーもご要望に応じて送付いたします。（在庫がない場合もあります）

■これまでの掲載内容（H22抜粋）

コンテンツ

●中国点描

環日本海経済交流センター長による
中国ビジネスの展望について点描いただきます。

●特集記事

・北東アジア地域と北陸地域との経済交流の現状と展望
・中国東北地方を足がかりとした販路開拓
・台湾活用型の対中ビジネスの可能性と課題

●シリーズ

・中国貿易・投資Q&A　貿易投資アドバイザーによる相談事例紹介
・富山県大連事務所便り　最新の中国事情をご紹介します

6 図書・資料の収集・公開

県内企業の海外ビジネスを支援するためのサービスとして、主に北東アジア地域に関する最新の統計資料、各種書籍、資料等を自由に閲覧できます。

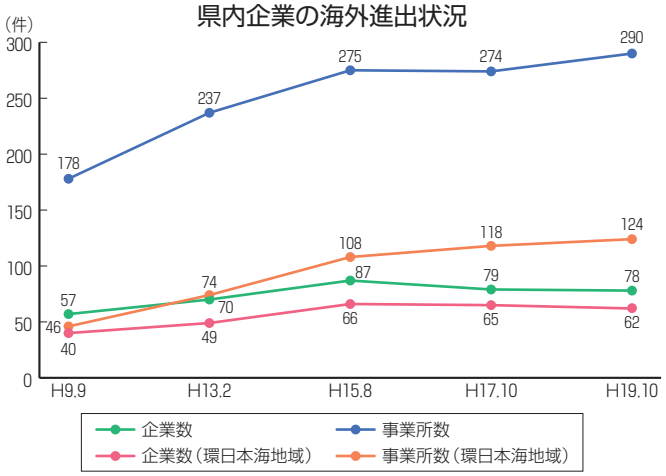
■主な書籍・資料（書籍名はあくまで一例です）

国	分類	書籍名
中国	企業情報	「中国進出企業一覧（上場・非上場会社編）」 「日中関係企業データ」
	投資実務	「中国投資ハンドブック」 「中国進出企業の各種契約モデル書式集日中対訳」 「中国駐在員事務所現地法人の設立実務とその手続き」
	中国企業	「中国自動車・部品・機械企業要覧」 「中国有力企業と業界地図」
	関税	「中国関税率表」
	法規・税制	「経営者のための知的財産権保護マニュアル」 「最新中国税制ガイド」
	投資環境	「中国投資環境シリーズ」（主要都市収蔵）
	統計年鑑	「中国統計年鑑」「遼寧省統計年鑑」 「大連市統計年鑑」「上海市統計年鑑」
	産業	「日本のジェネリック医薬品市場とインド・中国の製薬産業」 「日本の自動車・部品産業と中国戦略」
ロシア	投資環境	「ロシア極東の経済・貿易・外国投資の概況」 「ロシアにおける工場建設・経営の諸問題」
	経済概況	「ロシアの経済改革とビジネス環境の変化」
韓国	投資環境	「韓国進出ガイドブック」
	経済概況	「韓国経済・産業データハンドブック」
北朝鮮	法令	「北朝鮮経済関係法令集」
	企業情報	「朝鮮対外貿易機関名簿」

中国各開発区・中国国内見本市などのパンフレットも取り揃えてあります。
北東アジア（中国、ロシア、韓国、北朝鮮）の定期購読雑誌もあります。
主要各都市の地図もあります。
※ご希望に応じて貸し出します。

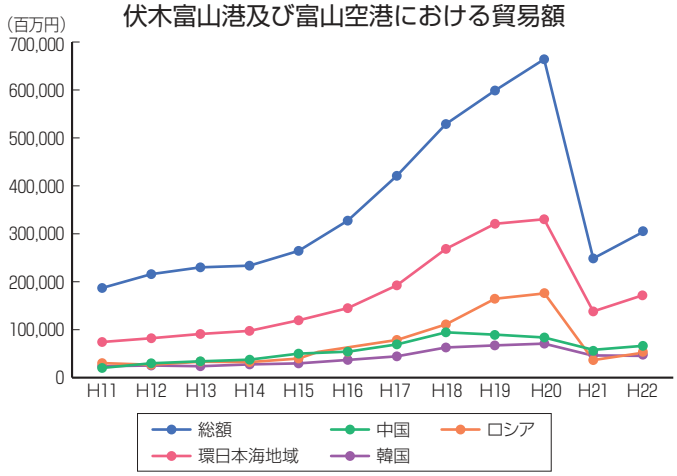
■環日本海経済交流データ

県内企業の海外進出状況



資料:(財)とやま国際センター「富山県企業の海外事業所調査」

伏木富山港及び富山空港における貿易額

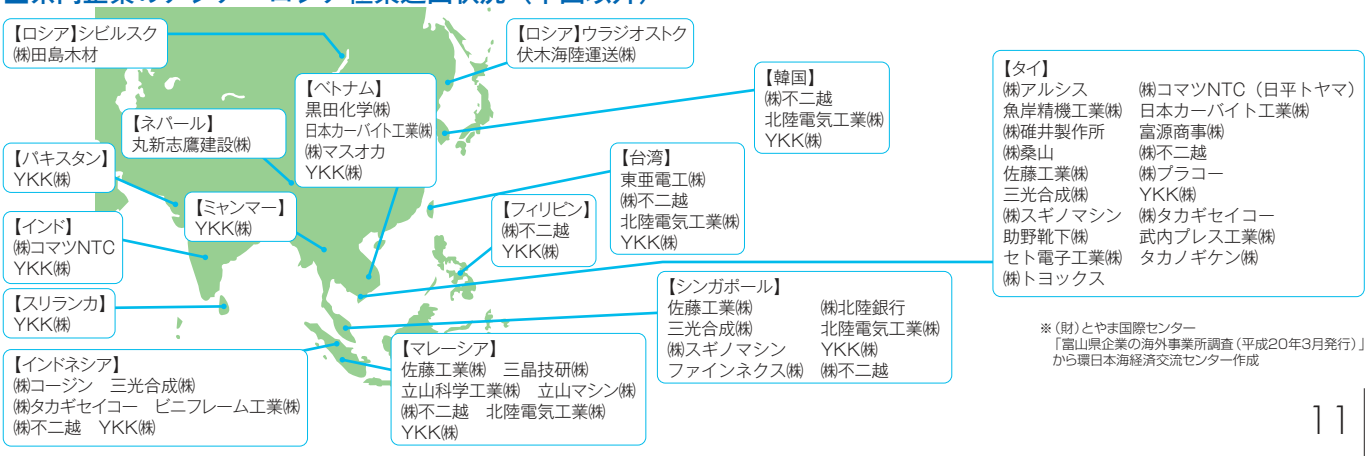


資料:財務省「貿易統計調査」

■県内企業の中国進出状況

※(財)とやま国際センター「富山県企業の海外事業所調査(平成20年3月発行)を基に(財)富山県新世紀産業機構環日本海経済交流センターが独自に追加して作成

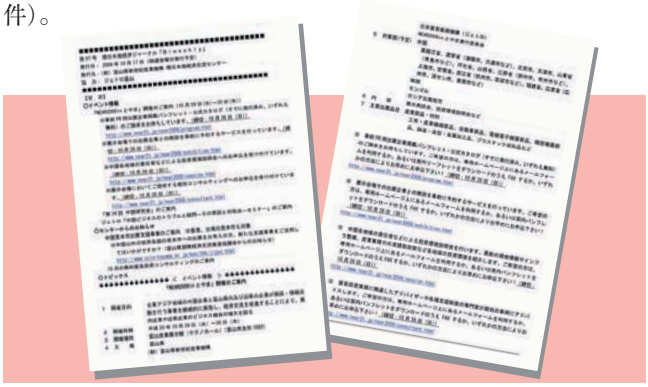
■県内企業のアジア・ロシア極東進出状況（中国以外）



※(財)とやま国際センター
「富山県企業の海外事業所調査(平成20年3月発行)」
から環日本海経済交流センター作成

7 メールマガジン「Bi WEEKLY」の配信

北東アジア地域経済の最新情報やビジネス関連イベント案内等についてのメールマガジンを配信しています（約220件）。



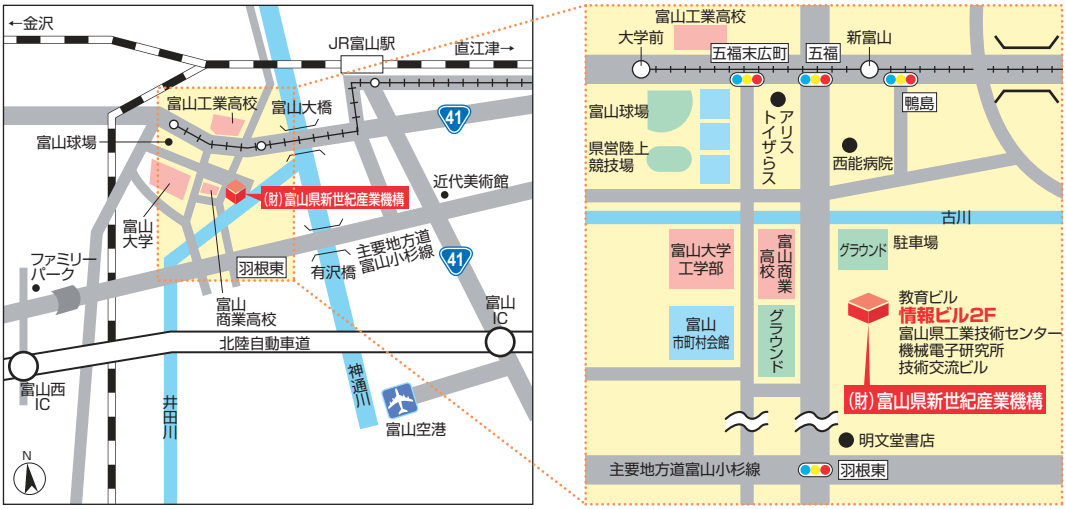
8 ウェブサイトの公開・更新

当センターウェブサイトでは、ご紹介した各種サービスの詳細や、北東アジア地域ビジネスに役立つ様々な情報を掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

環日本海経済交流センターサイト

NEAR2010専用サイト

GUIDE MAP



交通案内 ■JR富山駅前より市電で12分、新富山下車、徒歩10分　■JR富山駅よりバスで小杉・高岡方面行乗車、新富山にて下車、徒歩10分
■北陸自動車道富山インターより車で約20分　■北陸自動車道富山西インターより車で約15分　■富山空港より車で約15分

財団法人　富山県新世紀産業機構
環日本海経済交流センター

〒930-0866 富山市高田527 情報ビル2F　TEL:076-432-1321　FAX:076-432-1326
E-mail:staff.kbk@toyama-smenet.or.jp　URL:http://www.near21.jp/
NEAR2010専用URL:http://www.near21.jp/near2010/

JETRO **日本貿易振興機構（ジェトロ）**
富山貿易情報センター

〒930-0866 富山市高田527 情報ビル2F　TEL:076-444-7901　FAX:076-444-7903
E-mail:TOY@jetro.go.jp　URL:http://www.jetro.go.jp/jetro/offices/japan/toyama/